

# たきぐちなおと 滝口直人

# 道政だより

## 北斗市民の声を大切に



令和元年7月1日(月)  
第2回定例会 一般質問

### 「挨拶」

この度、4月7日の統一地方選挙におきまして、絶大なるご支援、お力添えにより、所期の目的を達成することができました。心より感謝とお礼を申し上げます。今後、四年間、北斗市民の代表として皆様のご意見を北海道へ訴えかけていくことを、改めてここにお誓い申し上げます。

### 初登庁

5月16日は、第1回北海道議会臨時会の初日で、議員として初の登庁となりました。5月22日までの会期で行われ、この間、議長および副議長の選挙のほか、各常任委員会や議会運営委員会、特別委員会の構成が決まりました。私は、常任委員会の中の「農政委員会」

と、「人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会」に所属することとなりました。

ちなみに、私の所属する会派は「自民党・道民会議」で、議員総数100名のうち53名が所属しており、道議会にある5会派の中では、最大の会派になります。

### 第2回定例会の状況および一般質問の結果

6月20日から7月12日までの会期で第2回定例会が開会され、代表質問から一般質問、および北海道から提出された議案の審議を行いました。

代表質問とは、議会に所属する会派（5人以上で結成）を代表して、行政事務全般にわたる、執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて質問するもので、一般質問とは、議員が本会議で、議長の許可を得て道政全般について、知事など執行機関の考えなどを質問するものです。

今定例会での一般質問者は23名で、私が所属している会派では一年生議員が質問する慣わしとなっていることから、私にも白羽の矢が立ち、7月1日に7人目として登壇し、8項目を鈴木知事と佐藤教育長に質問をしました。

### 1 河川の防災・減災について

#### 質問要旨

近年の大雨により、整備計画によって整備が行われた道管理河川においても氾濫が起きている。整備が必要とされている1200河川・延長7800kmのうち、整備済

みは約3000kmで半分にも達していないが、どのように整備を進めていく考えなのか。

#### 答弁要旨

氾濫の危険度が高い区間の河道掘削を先行して実施するほか、上流域に遊水池の整備を行うなどの対策を進めている。道としては、緊急度の高い区間を優先して整備するなど、効率的・効果的な河川整備に取り組むとともに、必要な予算を国に強く求めていく。

### 2 漁業経営の安定化について

#### 質問要旨

漁業経営の安定化を図るには、地域の特性に合った対策を立て、所得を向上させることが必要と考えるが、新たな生産体制の確立に向けた取り組みや、漁港内の静穏域を活用したナマコなどの増養殖調査の成果を、どのように生かし、どのように他の地域へ広げていくのか。

#### 答弁要旨

既存の漁船漁業に、ホタテやナマコ、カキなどの増養殖を組み合わせた生産体制づくりのほか、漁獲物のブランド化などを進めてきた。これからも、地域のニーズを踏まえ、市町村や漁業者を対象とした新たな成果事例の発表会の開催や必要な施設整備の支援をするなどし、日本海漁業の振興に取り組んでいく。

### 3 医療・介護の充実連携について

#### 質問要旨

地域包括ケアシステムの推進は、それぞれの地域の実情にあったものが必要で、そのためには、国の制度改正や地域マネジメントの情報収集等が必要だが、小規模自治体では人員や財源の制約があるため、その支援をどうするのか。

また、市町村の中には、圏域で完結する職能団体を持たない地域も多いため、単独での推進は極めて困難な状況であるほか、自治体が医師会との協働関係を構築するまでに時間がかかる場合もあることから、これらへの支援について、どのように考えているのか。

#### 答弁要旨

道としては、高齢者の自立支援や重度化防止に向けて、今後とも市町村を支援するほか、国の交付金を活用した地域支援事業



令和元年7月9日(火)  
第2回定例会 予算特別委員会第1分科会

の充実を図るなど、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らすことができる体づくりを一層進めていきます。

在宅医療と介護の連携については、保健所が事務局となって設置している多職種連携協議会において、今後、医療と介護専門職の顔の見える関係づくりを一層進めるほか、地元医師会等、関係団体と市町村の連携を支援するなどして、地域全体で高齢者とその御家族を支える体制づくりを推進していく考えです。

### 4 子どもの貧困対策について

#### 質問要旨

道は、子どもの貧困への課題対応として、親の就業に向けた支援などを充実し、収入の増加と安定を図り、課題の解決をしようとしているが、就労支援や就学支援の効果をどのように分析し、次期の子どもの貧困対策推進計画をどのように策定するのか。

また、子どもたちが、安心して学習や食事の支援が受けられる居場所づくりとしての子ども食堂等の取り組みは増加しているが、事業の担い手の不足等によって、取り組みが進んでいない地域がまだにある。それらの地域に対する子どもの居場所づくりにどのように取り組む考えなのか。

#### 答弁要旨

次期計画の策定に当たっては、これまでの取り組みの効果や課題の検証はもとより、市町村や関係団体等で構成する子どもの貧困対策ネットワーク会議を通じて、保護者

### 地元密着活動の様子



令和元年10月27日(日)  
北斗市市民植樹祭

の就労や子どもの就学支援などの取り組みについて総合的に検討を進め、夢と希望を持って成長できる社会の実現に努めます。

子どもの居場所づくりについては、今後、担い手の確保や地域の協力体制の構築を一層推進していく必要があると認識しており、フォーラムやセミナー等の開催により、子どもの貧困対策への意識醸成や人材確保を図るとともに、昨年度、設置した地域ネットワーク会議において、「子どもの居場所づくりの手引き」の普及を初め、取り組みへのアドバイス、支援者間のコーディネートを行うなどして、地域における支え合いの輪がさらに広がるよう取り組んでいく考えです。

このほか、「待機児童の解消」「地域の未来を支える人材の育成」「スペシャルオリンピックス」「北方領土問題」の4項目についても質問をしました。

### 北海道議会議員

# 滝口直人

発行 滝口直人事務所

〒049-0161 北斗市飯生2丁目8-1 アピアビル1階D号室  
TEL:0138-86-5518/FAX:0138-86-5519  
Email:takiguchijimusyo@hotmail.or.jp

### 滝口直人プロフィール

|       |             |       |         |
|-------|-------------|-------|---------|
| 昭和30年 | 上磯町生まれ      | 平成14年 | 上磯町総務課長 |
| 昭和43年 | 上磯小学校卒業     | 平成18年 | 北斗市総務課長 |
| 昭和46年 | 上磯中学校卒業     | 平成20年 | 北斗市市民部長 |
| 昭和49年 | 北海道函館中部高校卒業 | 平成22年 | 北斗市副市長  |
| 昭和54年 | 小樽商科大学商学部卒業 | 平成31年 | 同 退職    |

●趣味：読書 ●尊敬する人：両親 ●好きな言葉：誠実

■農政委員 ■人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員

= 道政に対する皆様のご意見をお聴かせください =